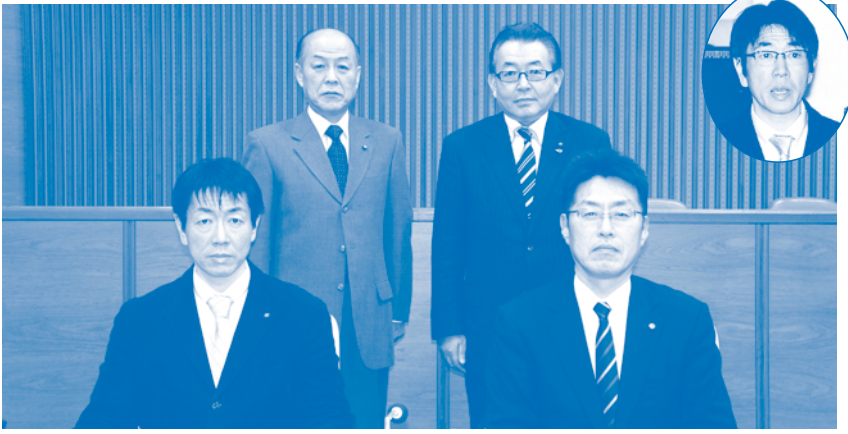


心のかよう、信頼と責任の市政の改革について

津山新星会議

代表質問者 近藤吉一郎



近藤 吉田 竹内(邦) 小椋

質問↓心のかよう信頼と責任の市政の改革をどう実施してきたのか。

答弁↓この2年間、新クリーンセンターの建設や土地開発公社の問題など、津山市政は非常に厳しい状況であり、こうした課題に取り組んできた。

質問↓津山駅や津山城周辺整備は後期実施計画でどのように位置づけ、事業を推進していくのか。

答弁↓駅周辺整備は後期実施計画の主要事業として位置づけ、実施に向け地元や関係機関と具体的に協議を行っている。津山城周辺整備は主要事業の中に調査検討事業を盛り込んでいる。

質問↓中心市街地活性化基本計画の認定に向けた具体的な推進体制は。

答弁↓総合企画部に課レベルの仮称「特別対策室」を設置し専任職員を配置して強力に進めていきたい。

質問↓市の熱意とスピーディーな対応で院庄工業団地にE I F西

日本株)の立地が決まり、大変喜ばしいこと。現在の二つの課を統合し仮称「企業新産業創出課」として企業誘致活動を行っている。

答弁↓組織の役割として企業立地課は外から企業を呼び込む誘致型、新産業創出機構は内発型の産業振興を進めるものであり、提案は一つの可能性として承りたい。

質問↓B-1グランプリ誘致について交通アクセスや会場は。

答弁↓25年度の近畿・中国・四国支部大会の誘致に手を挙げていく。市役所から総合体育館にかけてのスペースを念頭に誘致案を提案している。また、渋滞対策のため臨時駐車場と会場をつなぐシャトルバスの運行などを計画している。

質問↓公共事業の発注書に美作材使用の文言を明記しては。

答弁↓23年度中を用途に、公共建物への岡山県産材の利用促進方針の策定作業を進めている。発注書については今後協議研究していく課題としたい。

質問↓学力目標値を数字で示せないのか。

答弁↓県平均を上回るという目標を設定しており、その目標を達成する期間は教育振興基本計画に示す概ね5年を目標としている。

質問↓特別支援教育の充実をどのように図っていくのか。

答弁↓教職員の研修を継続的に実施し、特別支援教育の視点を活かした指導力の向上に努めている。障害の状態に応じた指導を行っていききたい。

質問↓県北地域における中高一貫校の設置についての見解は。

答弁↓県教委は平成24年度から実施計画の作成に入ると聞いている。懸念される課題ができるだけ改善され、津山市の教育の向上につながる学校ができるよう連携を図っていききたい。

質問↓耐震化率の目標がなぜ100%ではないのか。

答弁↓阿波小学校の対象となる校舎を除いたため。好ましい教育環境について、地元関係者と協議中である。